



# 『 悩める医学生 泣く研修医と 中山祐次郎著 』

をおすすめします！

どんな本が簡単に教えて！

- ・ 現役外科医が医学部生の日常を描いた小説です。
- ・ 医学部生は、ふつうの学生と違って、卒業まで最短でも6年！そして、そのほとんどを講義、研修、試験勉強に費やします。このため、世間に出ていくのは、他学部へ進んだ同級生より2年遅く、また、医師や看護師、そして、患者...と病院関係者だけで過ごすことが多いため、病院に縁が無く、(=健康で幸せな)人には遠く存在です。その実態に迫ります。

## ◇。 おすすめのポイント 。◇

- ・ ズバリ、「医学部生の実態」を学べる点、です！
  - ・ 「Part1」から「Part6」まで、各学年毎に章立てされています。
- ざっと「キーワード」だけ紹介すると...
- Part1. 入学式、オリエンテーション、~~早期医学体験~~ (アリーメディカルエクスポージャー)
- 〃 2. シェム(シム)の双子児、ニ遺体の解剖
  - 〃 3. 肛門外科、大学病院での看護実習
  - 〃 4. 法医学、ステューデント・ドクター
  - 〃 5. 臨床実習、産婦人科
  - 〃 6. クリニカル・クラークシップ、医師国家試験
- これらのキーワードにピンと来る人はほかほか、(失礼)と思っ  
まるか、気に入った方は是非読んでみて下さい。

どんな人に読んでほしい？  
お医者さんになりたい全ての人に読んでほしいです。また、  
人体の神秘に興味がある方にもオススメです。

●ペンネーム (なまえ)  
ごとう しゅんすけ